

株式市場・債券市場への金融政策の影響

——ユーロ円3ヶ月先物データを用いた分析——

青野幸平

〈要 旨〉

本論文では、日本における金融政策の株式市場、債券市場への影響を明らかにする為に、以下の分析を行う。最初に、Kuttner (1996) や Bernanke and Kuttner (2005) で利用されている、先物金利を利用した「Surprise」変数に対応する変数を、日本のデータを用いて作成する。その際、日本における先物金利として、Honda and Kuroki (2006) と同様に、「先物ユーロ円3ヶ月もの」を利用した。その上で、アメリカでの Bernanke and Kuttner (2005) における分析に倣い、「Surprise」変数を用いた金融政策に対する株式市場と債券市場への影響についての分析を行っている。結果は、短期において、金融政策が株式市場に影響を与えるものの、その効果は減少していく事が確認された。さらに、「Campbell 型分散分解」を用いた分析の結果、金融引締ショックが、配当の増加と実質利子率の上昇への反応を通じて株式収益率へ影響していることを示している。

© Japan Society of Monetary Economics 2010